

## 「森林総合研究所一般公開」に出展しました

令和元年8月7日

当日の様子

森林総合研究所（茨城県つくば市）が毎年夏休み期間中に行っている一般公開に出展しました。今年は7月27日(土)に開催され、台風が接近するとの予報でしたが、天気もよく夏らしい暑さの中、2千人を上回る方が来所されました。

さて、当センターは「絶滅危惧種オガサワラグワの保存について」のポスターやオガサワラグワの鉢植などを展示しました。これはクイズラリーの問題の一つになっていて、ポスターに回答が記載されていることもあり、親子連れを中心にご覧いただきました。この点からすると、ポスター内容は専門的で難しかったようで、今後の課題とします。その他、桑の実でジャムを作った方からの実の大きさや、オガサワラグワを増やすための培養方法についての質問がありました。

また、本イベントは森林総研の多種多様な研究を反映して多彩なイベントがあり、例えば「シロアリと遊ぼう！」ではシロアリの巣やその中で生活する様子を間近で観察することができました。

このような機会を通じて、森林・林業について多くの方に興味を持ってもらうことができたと感じました。



(企画部 育種企画課)